

1. プログラム趣旨

オーストラリアのトップ大学のひとつであるオーストラリア国立大学（ANU）の学生と一緒に ANU の授業を体験してみよう！本プログラムでは、未だ留学等の国際経験が少ない Go Global Gateway（GGG）登録者をターゲットとし、語学学習に留まらない国際交流と理解のための「留学体験」を提供する。本プログラムは「共生」という包括的テーマのもと、日本やオーストラリアの先住民の歴史や文化、東日本大震災の復興や環境への影響等について、英語で学習する。両大学の学生がプログラムに参加することで交流を深め、将来の長期留学や海外でのキャリア形成等に向けた動機づけを行う。学年、文系、理系を問わず参加できる。

2. プログラム内容

ANU と東京大学では、2022 年 2 月 21 日・22 日・24 日・25 日（日本時間）の 4 日間にわたって、ZOOM 等を使ったバーチャル環境下（カメラ付き）で合同プログラムを行う。「共生」という包括的テーマのもと、「環境」、「災害」、「多文化」などのトピックについて、両校の教授陣による基礎的な講義を受講する。ANU の学生と合同で講義を受けるとともに、グループワーク等を通して ANU の学生と協働しながら交流を深める。

海外大学の授業を聞いてみて、現地の学生と交流したいという動機を持った学生を歓迎する。事前の専門知識は特に必要としない。講義はすべて英語で行う。すべて理解できる必要はないが、あきらめず最後まで聞く姿勢が必要である。奮って参加しよう。

3. 期間

2022 年 2 月 21 日（月）・22 日（火）・24 日（木）・25 日（金）（日本時間 8：30～16：30）（4 日間）

4. 募集人数

学部学生 20 名程度

5. プログラム日程（予定）

2021 年 12 月 3 日(金) 正午 →学内応募締切まで延長	Go Global Statement 提出・承認締切
2021 年 12 月 20 日(月) 正午	学内応募締切
2021 年 12 月 21 日(火) 正午	申請書類修正版再提出（差戻の場合）締切
2022 年 1 月中旬頃	選考・結果通知
2022 年 2 月中旬	オリエンテーション（事前説明会）
2022 年 2 月 21 日(月)・22 日(火)・24 日(木)・25 日(金)	プログラムの実施
2022 年 3 月 11 日(金)	報告書、GGG アクティビティレポート 提出締切

6. プログラムの資格・要件

総合募集要項に記載の資格・要件に加え、以下の要件をすべて満たすこと。

- (1) 国際総合力認定制度 Go Global Gateway (GGG) に登録し、Go Global Statement を提出、承認されている者 (2018 年 4 月以降入学の学部学生のみ対象)。
- (2) 中級程度の英語能力 (CEFR の B1~B2 レベル) を持っていること。
何らかの英語能力の証明書を提出することが望ましいが、所持していない者も応募できる。
ただしその場合は、上記 CEFR の基準を確認の上、応募すること。
- (3) 海外大学での授業の受講、英語学習、異文化体験に興味を持っていること。
- (4) プログラム中使用する遠隔会議ツール (Zoom を予定) の利用が可能なこと。

7. 費用

無料 (プログラム料金は東京大学が負担する)

8. オリエンテーション

オリエンテーション (事前説明会) を 2022 年 2 月中旬にオンラインにて開催する予定。プログラム参加決定者は必ず参加すること。

9. 参加後の報告等

総合募集要項 10. (1) にあるとおり、本部国際交流課が定める報告書と併せて国際総合力認定制度のアクティビティレポートを提出すること。

アクティビティレポートのカテゴリーは「2. 授業・コース」もしくは「4. 国際交流活動」とすること。

10. 問合せ先

東京大学グローバルキャンパス推進本部

国際総合力認定制度担当

go-gateway.adm[at]gs.mail.u-tokyo.ac.jp

(問合せの前に総合募集要項を確認すること)

注：本プログラムは、理学部の「地球惑星環境学 国際研修」としても実施される※。国際総合力認定制度のプログラムとして参加した場合に単位は付与されないが、国際研修として履修した場合は 1 単位が付与される。なお、国際研修として履修した場合は岩手県大槌町でのフィールド実習が含まれる可能性がある (国際総合力認定制度のプログラムとして参加した場合はバーチャルツアーに参加することになる)。国際研修として履修することに関して質問がある場合は、担当教員である横山 祐典 先生に問い合わせること。

※国際研修として参加する場合は、通常の科目授業として UTAS にて履修する必要がある。国際研修と国際総合力認定制度のプログラムとの重複参加は不可。

横山 祐典（東京大学 大気海洋研究所 教授）
yokoyama@aori.u-tokyo.ac.jp

スケジュール（案）

1ユニット 45+15分 (=60分) を想定

緑：講義メイン、青：グループワーク

月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日				
8:30	1	Simon	1	休み		8:30	1	牧野	1			
9:30		Humans⇔Environments				9:30		佐藤		9:30	水産学	
9:45	2	Simon	2			9:45	2	佐竹 (TBC)	2	グループ発表準備		
10:45		Indigenous Peoples' History				10:45		津波			10:45	
11:00	3	空き	3			11:00	3	津波・地震 ムービー	3			
12:00		経済				12:00		12:00				
13:00	4	北海道パート アイヌの文化 Virtual Museum Tour(TBC)	4			大石 (富士通)	13:00	4	おしゃっち		4	グループ発表
14:00							14:00					
14:15	5		14:15				5	14:15			5	
15:15			15:15									
15:30	6		15:30				6	15:30			6	
16:30			16:30					16:30				